

グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習 (2)

Information processing exercises that incorporate questionnaires created by the groups and group presentations (2)

梶木 克則

Yoshinori KAJIKI

甲子園大学 栄養学部

College of Nutrition, Koshien University

Email: kajiki@koshien.ac.jp

あらまし：情報リテラシー教育としてワード・エクセル・パワーポイントを教えているが、関連付けて教えられないかと考え、アンケート作りを取り入れている。前期は個人で二択1問のアンケートを作り、集計処理、発表までを行う。後期の演習では、グループで話し合いアンケートを作り、グループで発表まで行うよう演習内容を発展させた。話し合いには SNS を使い、個人の発言が記録されるようにした。2 年目の後期から、グーグルのスプレッドシートの共同編集を活用してオンラインの話し合いを行った。全ての発言が記録されるわけではないが、SNS よりも意見の集約が効率よく行えた。

キーワード：協調学習、ICT 活用教育、アンケート、共同編集

1. はじめに

高校での教科「情報」が始まり10年以上になるが、いまだに高校で情報処理の演習を受けてこなかったとか、1年程度であったため覚えていないというケースも多く、相変わらずスキルの格差は狭まっていないように思われる。パソコンスキルの能力差が大きいため、これまで通り初心者向けのテキストを使わざるを得ないが、扱う題材については少しでも興味を持って取り組んでもらえるものにと考えた。そこで2013年度からアンケート作りを取り入れ、回答結果を集計分析し、レポートにまとめ、発表するまでを一貫して行う演習内容に変更した。

アンケート作りには、以前から利用しているグーグルのクラウドサービスのフォーム⁽³⁾（アンケート作りから集計まで）の機能を利用した。前期の演習では、各自で二択の1問だけのアンケートを作り、実施した結果を集計分析し、レポートにまとめ、発表するまでを試みた⁽²⁾。自分で考えたアンケートであり、得られた生のデータを使うことから、身近な題材としてとらえ、興味を持って取り組んでもらえると考えた。また、1つの題材を元に、ワード、エクセル、パワーポイントを活用するため、実際の使い方が取得できると思われた。

2013年度の同じクラスの後期の演習では、グループに分け、グループでの話し合いによる自由なアンケート作りに発展させ、グループで発表するところまでを行う演習内容とした⁽⁴⁾。話し合いには SNS を使い、個人の発言が記録されるようにした。2014年度も同様に後期の演習では、グループによる話し合いを取り入れたが、SNSだけでなくグーグルのスプレッドシートの共同編集によるオンラインの話し合いも試みた。SNSで意見を出し合い、スプレッドシート上に意見を集約するツールとして併用した。

本稿ではスプレッドシートの共有を活用したグル

ープの話し合いによるアンケート作りと発表のためのスライド作りの共同作業について述べる。

2. グループによるアンケート作り

2013 年度前期の情報処理演習から、個人による二択1問だけのアンケート作りを取り入れた演習を試みた。後期からはグループによる話し合いで、みんなの関心があるテーマを選び、質問内容と選択肢もいろいろな人の意見を盛り込み、本格的なアンケート作りを行えるように発展させた。話し合いには SNS を利用し、記録が残せるようにした。また、発表に向けたスライド作りには、マイクロソフトの SkyDrive の Web アプリの PowerPoint プレゼンテーションの機能を使い、共同編集ができるようメンバーを登録して利用した。

2.1 話し合いによるアンケートのテーマ選び

グループ分けはこちらから指定し、1 グループ 6 人から 8 人までになるように調整し、5 つのグループに分けた。演習室では自由席のため、グループごとに集まるようにはせず、話し合いは全て SNS を通じて意見を発言するようにした。

アンケートのテーマについて、まず個人思考として各自 2 つ以上メモ帳に入力するように指示した。SNS 上に 5 つのコミュニティをあらかじめ作っておき、管理者の承認により参加できるようにし、班ごとに話し合いができる場を整えた。図 1 にある班の SNS 上でのアンケートのテーマおよび選択肢の話し合いの一例を示す。

2.2 グループによるアンケート作り

テーマ決定後、テーマに沿った設問と選択肢を SNS 上で出し合い、順序も検討された。それを元に、アンケートの文面作りは各自で行い、そのリンクをグループの SNS 内で見られるようにし、代表とする

アンケートを選び、各班ごとに最終のアンケートの URL を提出してもらった。図 2 はそうした話し合いを基に作られたアンケートの文面の一例である。

図 1 SNS でのアンケートのテーマおよび設問・選択肢の話し合いの一部分

図 2 班代表のアンケート文面の一例

2.3 グループによるスライド作りと発表

5 つの班のアンケート結果をエクセル形式でダウンロードして、各班のメンバーに配布し、集計処理とレポート作りは各自で行った。

各自で作成したレポートを元に、グループのメンバー全員の力を合わせて、発表のためのスライド作りを行えるように考えた。SNS で話し合いながら、共同でスライドの編集ができるように、Web アプリの PowerPoint を利用した。あらかじめこちらで 5 つの班の空のスライドを用意し、各班のメンバーを編集可能な共有者として登録し、メールでリンクを送信しておいた。各班ごとにスライドの共同編集が行え、発表の際も簡単にスライドショーを始めることができる。同じスライドを同時に編集してしまうと、つぶし合いになってしまうので、担当するスライドの番号を決めてから行うように指導した。スライド作りにおいて、SNS はスライドの見出しと分担を話し合うのに利用された。

3. スプレッドシートの共有による話し合い

2014 年度後期の演習では、グループによる話し合いの際に、SNS だけでなくグーグルのスプレッドシートの共同編集によるオンラインの話し合いも試みた。SNS で意見を出し合い、スプレッドシート上に意見を集約するツールとして併用した。

最初は両方を使っていたが、SNS よりもスプレッドシートの方が自由度が高く、次第にスプレッドシートだけを使うようになっていった。図 3 にアンケ

ートを話し合っ作る際の、設問とそれらに対する選択肢をスプレッドシート上に複数人で書き込んでいた様子を示す。セルの枠の色でメンバーを区別でき、同時に同じセルに書き込んでしまわないようにして、共同編集が行える。

同様に発表用にもグーグルのプレゼンの共有機能を活用して、スライドごとにメンバーを分けるようにして共同作業が行えた。その様子を図 4 に示す。

図 3 スプレッドシート上に設問（左端）とそれぞれの選択肢（右側）が始め（上）から次第に埋められていく（下）様子

図 4 スライド作りの共同作業の様子

4. まとめ

SNS による話し合いについては、画面がスクロールするため意見を集約し辛いという問題があったが、スプレッドシートの共有では自由度が高く自由な位置に情報を配置でき意見の集約に適していることから、SNS とスプレッドシートを併用することにした。

しかし、すぐに SNS は使われなくなり、スプレッドシートだけで話し合いが進められるようになった。スプレッドシートの共同編集機能の有効性が実感できた。

参考文献

- (1) 梶木克則, 榊井猛: “グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習”, 教育システム情報学会第 39 回全国大会, G3-4 (2014)
- (2) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “身近な題材と振り返りメモを取り入れた情報処理演習の試み”, 教育システム情報学会第 38 回全国大会, F6-1 (2013)
- (3) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “グーグルドキュメントのフォーム機能を利用したアンケート作成演習の試み”, 平成 21 年度情報教育研究集会, A3-4 (2009)